

せんだいスクール・オブ・デザイン

学生便覧・シラバス

2012 年度秋学期

2012.11.9 改訂版

目次

1. 受講モデル	2
2. 全体スケジュール	3
3. 2012年度秋学期開講科目シラバス	
PBL スタジオ 1 メディア軸「地方都市の美術とツーリズム」	4
PBL スタジオ 2 環境軸「センダイオアシス/ブルーグリーンスタジオ4」	5
PBL スタジオ 3 社会軸「メモリアル・ランドスケープ」	6
PBL スタジオ 4 コミュニケーション軸「時間多様性 Chronodiversity のデザイン」	7
PBL スタジオ 5 国際軸「Unveiled Network」	8
Interactive レクチャ「グラフィックデザインの冒険」	9
Future ラボ 4 「ファブリケーションの未来」	10
アジャイル・リサーチ・プロジェクト 5	11
アジャイル・リサーチ・プロジェクト 6	12
4. 講師とスタッフ	13

1. 受講モデル

受講コース：

受講にあたっては在籍期間と修了認定要件に応じて2種類のコースがあります。
受講および修了認定は、半年ごと年2回おこなわれます。

コース	在籍期間	修了認定に必要な取得ポイント数
基礎コース	半年	1.2以上。少なくともPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修することが最小条件
発展コース	一年	2.4以上。少なくとも半期ごとにPBLスタジオの中から1スタジオを選択し、Interactiveレクチャを履修すること。

2012年度秋学期からの受講期間は、下記のとおりです。

- ・基礎コース 2012年11月3日から2013年3月31日まで
- ・発展コース 2012年11月3日から2013年9月30日まで

※基礎コースを修了認定された方は、再度半年受講いただくことにより発展コース修了者として認定されます。

受講料：無料です。ただし、保険料や課題制作材料費等、一部実費の自己負担をいただく場合があります。

開講科目：

種別	科目	春学期 [5月-9月]	秋学期 [11月-3月]	ポイント
選択 必修科目	PBLスタジオ1 [環境軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ2 [メディア軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ3 [社会軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ4 [コミュニケーション軸]	開講	開講	1.0
	PBLスタジオ5 [国際軸]	開講せず	開講	1.0
必修科目	Interactiveレクチャ	3回	3回	0.2 [2回以上の出席でポイント取得]
選択科目	Future ラボ	開講	開講	0.5
	クリエイタ・イン・レジデンス	開講	開講せず	0.5
	アジャイル・リサーチ・プロジェクト [ARP]	随時開講		0.5

ただし、複数のPBLスタジオをひとつの学期内で履修することはできません。

修了要件：ポイント取得の可否はスタジオマスターにより判定されます。

主に講義出席、積極性、成果品制作姿勢などにより総合的に判断します。

スタジオごとに諸条件が異なりますので、詳細は各スタジオのシラバスをご確認下さい。

2. 全体スケジュール [2012年度秋学期]

学事日程：

2012年11月3日 [土] 受講ガイダンス／開講式

2013年2月15日 [金] 学内講評会

2013年2月24日 [日] 成果発表会

2013年3月19日 [火] 修了式（仮日程）

発展コースの方は、引き続き2013年5月開講の春学期を受講いただきます。

講義日程：変更になる場合があります。ウェブサイトのスケジュールを都度ご確認ください。

		メディア 斧澤	環境 阿部	社会 岩澤	コミュ 阿部	国際 斧澤	レク その他			メディア 斧澤	環境 阿部	社会 岩澤	コミュ 阿部	Fラボ 岩澤	レク その他		
11	1	木						1	1	火							
	2	金							2	水							
	3	土	開講式@KatahiraX						3	木							
	4	日								4	金						
	5	月								5	土						
	6	火								6	日						
	7	水			#1					7	月						
	8	木								8	火					#1★	
	9	金		#1						9	水		#5				
	10	土				#1				10	木	#6		#6			
	11	日				#2				11	金						
	12	月								12	土	#5★					
	13	火	#1		#2					13	日	#6					
	14	水								14	月祝						
	15	木								15	火		#6				
	16	金							#1★	16	水						
	17	土								17	木					#2	
	18	日								18	金						
	19	月								19	土		#7				
	20	火	#2★							20	日						
	21	水								21	月						
	22	木								22	火					#3	
	23	金祝								23	水						
	24	土								24	木					#4★	
	25	日								25	金						
	26	月								26	土						
	27	火								27	日					#5	
	28	水								28	月						#3★
	29	木	#3★							29	火						
	30	金								30	水		#7	#7			
	12	1	土							31	木						
2	日							2	金						#6★		
3	月							3	土								
4	火							4	日								
5	水							5	月								
6	木	#4	#2					6	火								
7	金							7	水		#8	#8					
8	土							8	木								
9	日							9	金								
10	月			#3★				10	土								
11	火							11	日								
12	水							12	月祝								
13	木							13	火								
14	金		#3★					14	水								
15	土		#4					15	木								
16	日							16	金								
17	月							17	土								
18	火						#2★	18	日					#E1			
19	水			#4				19	月								
20	木	#5★						20	火								
21	金							21	水								
22	土							22	木								
23	日							23	金								
24	月祝							24	土								
25	火							25	日								
26	水							26	月								
27	木							27	火								
28	金							28	水								
29	土							29	木								
30	日							30	金								
31	月							31	土								

★=オープンレクチャ(仮)

テーマ：「地方都市の美術とツーリズム」 / S-meme05 制作

講師：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

清水 建人 | せんだいメディアテーク企画活動支援室 学芸員

地方都市仙台の特色ある文化施設と展覧会についての知見を得る。小課題の講評をもらう。

住友 文彦 | 別府国際芸術祭キュレーター / 前橋市新美術館開設準備室学芸員

仙台以外での地方での美術館についての知見を得る。

拝戸 雅彦 | 愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室 主任主査

地方の国際芸術祭における「行政とアートをつなぐ役割」についての知見を得る。

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohoku.ac.jp

趣旨： メディア軸では、毎回の講義をスタジオを受講生による編集会議と位置付け、最終成果物として仙台から発信する文化批評誌である『S-meme』の第五号を制作する。テーマに基づいたリサーチ、インタビュー、フィールドワーク、原稿の執筆から編集・装幀デザインまで、雑誌制作に関わる全ての作業に自分の能力を活かしながら関わり、雑誌を完成させる。

今回は前回に引き続き現代美術を扱い、とくに「地方都市の美術とツーリズム」をテーマとする。講義では地方都市における美術館の役割、また国際芸術祭とツーリズムの関係も考える。その手助けとすべく、講師には三人のキュレータを招く。せんだいメディアテークの清水建人は、仙台と現代美術について、また講義期間中に開催される志賀理江子の「螺旋海岸」展について語っていただき、受講生はこれの展評を書く。住友文彦は、東京都現代美術館や金沢 21 世紀美術館を経て、現在前橋の美術館準備室に関わったり、観光地でもある別府の国際芸術祭のキュレータとして、地方にアートの場をつくりだしている。そして拝戸雅彦は、57 万人を動員したあいちトリエンナーレ 2010 と 2013 の両方でキュレータをつとめ、地方における国際芸術祭の立ち上げを経験しつつ、行政とアートの現場をつなぐ役割を果たしている。

スタジオ活動は主に下記のことからなる。

- ・ レクチャ : 現代美術の動向を学ぶ。
- ・ 小課題 : 『S-meme』コンテンツとなるテキスト執筆に関わる小課題が出題される。
- ・ リサーチ : 仙台におけるアートの場にどのようなものがあるのかをリサーチし記事にする。
- ・ フィールドワーク : 仙台の美術館訪問 (予定)。
- ・ 雑誌制作作業、編集会議 : 原稿執筆から編集・装幀デザインまでを行い『S-meme』を完成させる。

修了要件： スタジオ成果物となる S-meme05 の制作のためのリサーチを伴った原稿執筆、レクチャに対する質疑応答、編集作業、装幀デザインなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

スケジュール： 各日 19:00~

#1	11/13 [火]	19:00-22:00	五十嵐		キックオフミーティング
#2	11/20 [火]	19:00-22:00	五十嵐・清水		レクチャ、編集会議
#3	11/29 [木]	19:00-22:00	五十嵐・住友		レクチャ、編集会議
#4	12/06 [木]	19:00-22:00	五十嵐・清水		小課題講評、編集会議
#5	12/20 [木]	19:00-22:00	五十嵐・拝戸		レクチャ、編集会議
#6	01/10 [木]	19:00-22:00	五十嵐		編集会議

備考： 上記以外にも装幀デザイン、文字起こし、校正、その他編集作業などで分科会として別途メンバーの日程を調整しミーティングが発生する。

また、11月6日(火)と11月8日(木)に行なわれるSSD外でのイベントである下記レクチャについても、講義外の推奨聴講レクチャとして参加できると望ましい。詳細は下記となる。

11/6日 | 映画『モバイルハウスのつくりかた』トークイベント | 21:00~ | 櫻井薬局セントラルホール

11/8日 | TUAD mixing! 2012 記憶の器 Voice of Memory 『記憶と風景 ~忘れられない風景について』

18:30-20:00 (申込不要) | 東北芸術工科大学 本館 7階ギャラリー

テーマ：センダイオアシス／ブルーグリーンスタジオ4

講師：石田壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

皆川典久 | 東京スリパチ学会会長／鹿島建設株式会社東北支店

地形と水系を体験的に理解するフィールドワークとその手法のレクチャ及び課題のエスキスを行う。

中野和典 | 日本大学工学部土木工学科 准教授

グリーンインフラストラクチャーの概論と実践のレクチャ及び課題のエスキスを行う。

佐藤正実 | NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台副理事長

仙台の古地図や絵地図、写真などから、歴史・文化の変遷を理解し、地域特性を探る。

今西 肇 | 東北工業大学工学部都市マネジメント学科 教授

仙台の地形・地質的特性と町の成り立ちについて、知見を得る。

担当助手：小川泰輝 | 東北大学大学院工学研究科 助手 ※連絡先 | ogawa@achi.tohoku.ac.jp

錦織真也 | 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻助手 ※連絡先 | nishikori@achi.tohoku.ac.jp

阿部 篤 | SSD 研究員 ※連絡先 | abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：これまでの仙台市中心市街地を対象にしたフィールドワークを前提に、現在、整備が進む地下鉄東西線沿線の駅前開発が想定されるエリアについて、地形・水系の特徴にもとづいた環境ポテンシャルを顕在化するグリーンインフラアーバニズムの展開を考える。

修了要件：スタジオ成果物となるグリーンインフラデザインに関連したレポート作成、レクチャに対する質疑応答、各回のフィールドワークとミニワークショップなどの作業に、自分の能力を活かして積極的に関わること。

スケジュール：

#1	11/09 [金]	18:30-21:30	石田・皆川		レクチャ
#2	12/06 [木]	18:30-21:30	石田・皆川・中野		レクチャ
#3	12/14 [金]	18:30-21:30	石田・皆川・佐藤		レクチャ
#4	12/15 [土]	09:00-16:00	石田・皆川		フィールドサーベイ
#5	01/11 [金]	18:30-21:30	石田・皆川・今西		ワークショップ・レクチャ
#6	01/12 [土]	09:00-16:00	石田・皆川・今西		フィールドサーベイ
#7	01/18 [金]	18:30-21:30	石田・皆川		中間エスキス
#8	01/25 [金]	18:30-21:30	石田・皆川		最終エスキス

テーマ：メモリアル・ランドスケープ

講師：小野田泰明 | 東北大学 大学院工学研究科 都市・建築学専攻 専攻長/教授

清水 義次 | 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役/東洋大学経済学部大学院公民連携専攻 客員教授

生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュース等から得られた実務的知見について講義。

担当助手：岩澤拓海 | SSD 研究員 ※連絡先 | iwasawa@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：2011年3月11日の東日本大震災とそれに伴う津波によって、仙台市沿岸部の風景は一変した。

この広大な地域は震災によって甚大な被害を受けるまで、人々が日常生活を送る場であり、豊かな田園風景・松林が広がる場所であった。今、地域には津波から住民が避難した小学校、日常生活が送られていた住まいの跡、被害を免れた地域固有の風景といった、生活の痕跡と被害の爪痕を伝える多くの震災遺構が遺されている。鎮魂の思いや震災の記憶、地域固有の歴史、災害に対する備えといったメッセージを、こうした遺されたものを通じて、いかに次の時代に承継していくかは、被害を受けた地域にとどまらず、私たち全員の眼前に横たわる喫緊の課題である。

古くは石碑や口伝という形で遺されてきたこうしたメッセージを、文字や写真といった記録や感傷的な思いだけに留めること無く、現実的かつ継続的な仕組みとしてどのように次代に伝えていくか。本スタジオでは、そうした仕組みを、企画や組織、事業、資金計画といった多岐にわたる項目について、専門家・実務家とのディスカッションを通じて検討し提案することを目的とする。

修了要件：スタジオ前半に行われるフィールドサーベイに参加し、調査結果を元にしたディスカッション等に積極的に関わること。また、スタジオ後半では企画のための準備に参加し、企画書等の作成に個人の能力を活かして参加すること。

スケジュール：

# 1	11/07[水]	18:30-20:30	小野田		レクチャ
# 2	11/13[水]	18:30-20:30	小野田		企画立案会議
# 3	12/10[月]	18:30-20:30	小野田・清水		レクチャ/ディスカッション
# 4	12/19[水]	18:30-20:30	小野田		ディスカッション
# 5	01/09[水]	18:30-20:30	小野田		ディスカッション
# 6	01/15[火]	18:30-20:30	小野田・清水		スタジオ内企画レビュー
# 7	01/30[水]	18:30-20:30	小野田		企画案のレビュー
# 8	02/06[水]	18:30-20:30	小野田・清水		スタジオ内講評会

備考：上記日程の他に必要な際は別途ミーティング・フィールドサーベイ等の機会を設ける。積極的に外部のNPO、団体、プロジェクト等と協働することも予定している。

テーマ：時間多様性 Chronodiversity のデザイナー—そこでどれだけの時をすごしますか？

講師：本江 正茂 | 東北大学都市・建築学専攻 准教授

中西 泰人 | 慶応義塾大学環境情報学部 准教授

システムデザインの見地から時空間／マルチスケールのデザインに関する知見とエスキスによる指導を行う。

森田 秀之 | 株式会社マナビノタネ代表取締役

アプリのシステムから図書館運営、エコミュージアム企画まで横断する時間の多様性を理解し、議論する。

担当助手：阿部篤 | SSD 研究員 ※連絡先 | abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：人はいつも移動している。場所と場所にねざしたコミュニケーションについて考えるとき、その場所でそれぞれがどのくらいの時間を過ごすかによって、場所の意味はまったく異なる。

ある場所に滞在する時間の多様性について了解し、その多様性を拡張しうるような場所やサービスのあり方を考える。たとえば、ラブホテルの御休憩と御宿泊、レストランの回転率、タッチダウンオフィス、片泊まりと長湯治、ネズミとゾウの寿命、地域の人口流動性などまで射程に含めながら、時間のエコシステムとしての都市にむけて、マルチスケールな時間のデザインを提案する。

修了要件：講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。

スケジュール：

# 1	11/09	[金]	18:30-21:30	本江・中西		キックオフ
# 2	11/10	[土]	13:00-17:30	本江・中西		ワークショップ
# 3	11/22	[木]	18:30-21:30	本江・森田		レクチャ
# 4	12/04	[火]	18:30-21:30	本江		エスキス 1
# 5	12/21	[金]	18:30-21:30	本江・中西		中間発表会
# 6	01/11	[金]	18:30-21:30	中西		エスキス 2
# 7	01/30	[水]	18:30-21:30	本江		エスキス 3
# 8	02/06	[水]	18:30-21:30	本江		発表リハーサル

テーマ：Unveiled Network

講師：石田 壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

小野田泰明 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

本江 正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授

土岐 文乃 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教

中田 千彦 | 宮城大学事業構想学部デザイン情報学科 准教授

福屋 粧子 | 東北工業大学工学部建築学科 専任講師

担当助手：斧澤未知子 | SSD 研究員 ※連絡先 | onozawa@archi.tohokku.ac.jp

趣旨：このスタジオでは、地域の問題をグローバルな視点から捉えるとともに、文化的・思想的背景の異なる他者との協働の中で建築提案のプロジェクトワークを進める。東北大学大学院都市・建築学専攻が、モンペリエ（仏）、メルボルン（豪）の建築系大学と共同で、毎年、世界各地の異なる地域を取り上げ、現地に渡航して多国籍なプロジェクトチームで取り組む「国際建築ワークショップ/WAW」と連携して行う。

今期は仙台がホスト国となり、仙台市営地下鉄東西線による地域のネットワーク化をテーマに、時間距離の短縮と都市機能の再編成を見据え、沿線エリアの将来像を提案する。海外の大学との共同スタジオのため、英語で実施する。

スタジオ活動は主に下記のことがらなる。

- ・フィールドワーク : 実際に課題の対象エリアを歩いて調査し、問題を発見する。
 - ・レクチャ : 課題に関わるいくつかのテーマについて専門家の話を聞き、学ぶ。
 - ・マスタープランの提案 : グループで討議しながら地下鉄東西線沿線のマスタープランを提案する。
 - ・建築プロジェクトの提案 : マスタープランをもっともよく表す建築プロジェクトを提案する。
 - ・プレゼンテーション : 提案内容をパネル・パワーポイントにまとめ、展示・プレゼンする。
-

修了要件:スタジオ期間は全日参加すること。ワークショップに参加するメンバーと積極的にコミュニケーションし、常に議論をしながら作業に取り組むこと。

スケジュール：

- 11/26 [月] オリエンテーション、自国での課題成果発表、グループ分け
- 11/27 [火] 敷地見学
- 11/28 [水] ~11/30 [金] 課題前半（グループ討議、マスタープラン）
- 12/01 [土] 中間講評会
- 12/02 [日] 被災地見学
- 12/03 [月] ~12/06 [木] 課題後半（個人、建築プロジェクト）
- 12/07 [金] 最終講評会、展示
- 12/08 [土] WAW10 周年記念イベント

2012 年度秋学期 Interactive レクチャ [必修科目 | 0.2 ポイント]

テーマ：グラフィックデザインの冒険

講師：秋山 伸 | グラフィックデザイナー / 有限会社 edition.nord 代表取締役

松田行正 | グラフィックデザイナー / 株式会社マツダ オフィス代表取締役

廣村正彰 | グラフィックデザイナー / 東京工芸大学芸術学部デザイン学科 教授

コーディネーター：五十嵐太郎 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

趣旨：今期の Interactive レクチャのシリーズでは、建築との関わりも深い、グラフィックデザインをベースとした活動を行うクリエイターがゲストとなる。

廣村正彰は、1988 年に田中一光デザイン室から独立し、無印良品のパッケージや竹尾ペーパーショウなどを手がけ、近年は埼玉県立大学、日本科学未来館、横須賀美術館などの建築のサイン計画を行う。また京都のカプセルホテル「9Hours」ではグッドデザイン賞金賞ほか多数受賞し、あいちトリエンナーレ 2013 では公式デザイナーをつとめる。松田行正は、自著や『10+1』の連載においてさまざまなインフォグラフィックを試みたほか、『建築雑誌』2008-2009 年のデザインを担当し、せんだいメディアテークや富弘美術館などの建築のサイン計画も手がけている。また 1985 年に牛若丸出版を立ちあげ、毎年きわめてユニークかつ実験的なブックデザインの本を世に送りだしながら、ギタリストとしてライブ演奏も披露している。そして秋山伸は、東北大学と東京芸術大学で建築を学び、ノイズ音楽への関心から展開し、90 年代からグラフィックデザイナーとして書籍、ポスター、展覧会などを手がけるようになった。綿密に計算された繊細なデザインや手作業の痕跡などを特徴とする。また、せんだいスクール・オブ・デザインの印刷物や HP の基本デザインにも関わった。この科目では、以上の三組のレクチャーと、受講者による長時間のインタラクティブな質疑応答によって、言葉によってデザインを論じることを学ぶ。

修了要件：3 回開催のうち 2 回以上の出席

スケジュール：

#1	11/16 [金]	19:00-22:00	秋山		グラフィックと建築：構造主義と非表現主義
#2	12/18 [火]	19:00-22:00	松田		線の事件簿
#3	01/28 [月]	19:00-22:00	廣村		意識が発火する瞬間

場所： #1~3 house/阿部仁史アトリエ [仙台市若林区卸町 3 丁目 3-16]

備考： 一般公開 | 要事前申込

当日ドリンク代として 500 円頂きます。ご協力下さい。

テーマ：ファブリケーションの未来

講師：久保田晃弘 | 多摩美術大学 美術学部情報デザイン学科 メディア芸術コース 教授
ものづくりの現状と展望を FabLab の活動をテーマとして講義。

石上 純也 | 石上純也建築設計事務所
自作の建築をテーマに講義。

平田 晃久 | 平田晃久建築設計事務所
自作の建築をテーマに講義。

渡辺 圭介 | 東北生活文化大学生活美術学科講師/メディアアーティスト
新たなものづくり/ファブリケーションの実践的方法についてのレクチャと
ワークショップを実施。

コーディネーター：本江正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授

担当助手：岩澤拓海 | SSD 研究員 ※連絡先 | iwasawa@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：モノの設計製造プロセスが変わりつつある。ものづくりの未来を考える。

近代に確立された少品種・大量生産を前提としたものづくりでは、設計者/生産者から消費者へという固定的なフローが形成されていた。しかし、21世紀になり新たな設計手法や生産方法の誕生はそれまでの固定的なフローを崩し始め、新たなものづくりの可能性を切り開きつつ有る。設計におけるコンピューターの発達、複雑かつ多様な形状の生成・コントロールを容易にし、製造におけるレーザーカッターや3Dプリンターの登場はコンピューター上のデザインを誰にでも現実のものにできる方法をもたらしている。こうした、ものづくり/ファブリケーションの状況に焦点を当て、先端的な取り組みを行なっている実務家・専門家からの知見の提供を受けながら、設計・ものづくりの現場を体験しつつ、ものづくりの未来について考える。

ワークショップでは講義やフィールドワークを前提とした成果物の作成を行う。

修了要件：講義・ワークショップへの参加状況から総合的に判断する。

スケジュール：

- | | | | | |
|----|-----------|-------------|--------|------------------------|
| #1 | 01/08 [火] | 18:30-21:30 | 本江・久保田 | ガイダンス/レクチャ |
| #2 | 01/17 [木] | 11:00-17:00 | 本江 | フィールドワーク(天童木工) |
| #3 | 01/22 [火] | 18:30-20:00 | 本江 | フィールドワーク(東北大学創造工学センター) |
| #4 | 01/24 [木] | 18:30-21:30 | 本江・平田 | レクチャ |
| #5 | 01/27 [日] | 13:00-18:00 | 渡辺 | ワークショップ |
| #6 | 02/02 [土] | 14:00-17:00 | 本江・石上 | レクチャ |

備考：上記日程以外に講義を前提とした成果物の準備・制作機会を設ける。実践的成果として地元企業等へプレゼンテーションを行う機会を設ける予定。

- #E1 02/16 [土] 18:30-21:30 プレゼンテーション及び審査

2012年度秋学期 アジャイル・リサーチ・プロジェクト 5 [選択科目 | 0.5 ポイント]

テーマ：災害のデータスケープ2

講師：本江正茂 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授

担当助手：阿部篤 | SSD 研究員 ※連絡先 | abeatsushi@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：本プロジェクトでは災害教訓の継承および研究機関による研究成果のアウトリーチを目的として、災害に関する研究データの適切な視覚家表現を検討し、実践的な表現形式によって発表する。具体的には、東北大学災害科学国際研究所の研究者を招き、勉強会を開催し、その知見を適切に伝えるためのデザインを検討し、プロトタイプを制作し提案する。

修了要件：講義への参加状況と最終製作物とを総合的に判断する。

スケジュール：

未定（後日ウェブサイトにて公開）

2012 年度秋学期 アジャイル・リサーチ・プロジェクト 6 [選択科目 | 0.5 ポイント]

テーマ：復興地域におけるスマートコミュニティ

講師：石田 壽一 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授

藤山真美子 | 東北大学大学院環境科学研究科 研究企画室 助手

担当助手：小川泰輝 | 東北大学大学院工学研究科 助手 ※連絡先 | ogawa@achi.tohoku.ac.jp

鎌田恵子 | SSD 研究員 ※連絡先 | kamata@archi.tohoku.ac.jp

趣旨：災害に強い町づくりとスマートコミュニティ

311 震災以降、東北復興におけるスマートコミュニティ議論は、低炭素社会の実現以上に、災害に対する弾力性の高い都市環境整備の指針を巡って議論が交わされている。平時は気候変動問題や低炭素社会実現に向けて、災害時は災害情報やエネルギー需給等の有用情報を提供する情報ソースとして、ICT の見える化技術を応用した先進的なスマートまちづくりが試行されている。このような視点にたつて、次世代型スマートコミュニティ像を考える。

修了要件：事前資料作成及びワークショップへの参加

スケジュール：

- ・ 11 月に事前資料作成を予定
- ・ 12 月中旬に 3 日程度のワークショップを予定

*詳細日程は後日 SSD ウェブサイトにて公開

| 東北大学教員 |

本江 正茂 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授]
五十嵐太郎 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
石田 壽一 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
小野田泰明 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授]
土岐 文乃 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助教]
小川 泰輝 [東北大学大学院工学研究科 助手]
錦織 真也 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 助手]
藤山真美子 [東北大学大学院環境科学研究科 研究企画室 助手]

| 特任准教授 |

平田 晃久 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 特任准教授/平田晃久建築設計事務所 主宰]
石上 純也 [東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 特任准教授/石上純也建築設計事務所 主宰]

| 外部講師 | ※科目順

清水 建人 [せんだいメディアテーク企画活動支援室 学芸員]
住友 文彦 [別府国際芸術祭キュレーター/前橋市新美術館開設準備室 学芸員]
拝戸 雅彦 [愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室 主任主査]
皆川 典久 [東京スチバチ学会会長、鹿島建設株式会社 東北支店建築設計部]
中野 和典 [日本大学工学部土木工学科 准教授]
佐藤 正実 [NPO 法人 20 世紀アーカイブ 仙台副理事長]
今西 肇 [東北工業大学工学部都市マネジメント学科 教授]
清水 義次 [株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役/東洋大学経済学部大学院公民連携専攻 客員教授]
中西 泰人 [慶応義塾大学環境情報学部 准教授]
森田 秀之 [株式会社マナビノタネ 代表取締役]
中田 千彦 [宮城大学事業構想学部デザイン情報学科 准教授]
福屋 粧子 [東北工業大学工学部建築学科 専任講師]
秋山 伸 [グラフィックデザイナー/有限会社 edition.nord 代表取締役]
松田 行正 [グラフィックデザイナー/株式会社マツダ オフィス代表取締役]
廣村 正彰 [グラフィックデザイナー/東京工芸大学芸術学部デザイン学科 教授]
久保田晃弘 [多摩美術大学 美術学部情報デザイン学科 メディア芸術コース 教授]
渡辺 圭介 [メディアアーティスト/東北生活文化大学生生活美術学科 講師]

| SSD 研究員 |

阿部 篤 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
岩澤 拓海 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
斧澤未知子 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]
鎌田 恵子 [東北大学大学院工学研究科 科学技術振興研究員]

お問い合わせ：

せんだいスクール・オブ・デザイン事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 電気通信研究所内

東北大学大学院工学研究科都市建築学専攻

tel : 022-217-6355

fax : 022-217-6350

email : info@sendaischoolofdesign.jp

<http://sendaischoolofdesign.jp>

「せんだいスクール・オブ・デザイン」は、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻が、仙台市と連携し、文部科学省が運用を行う科学技術振興推進費のプログラム「地域再生人材創出拠点の形成」の一環として実施するものです。

